

科目名	日本文学（近世）					単位	2.0
担当教員	服部 仁						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	4213

●授業のテーマ

曲亭馬琴作『括頭巾縮緬紙衣』

●到達目標

日本近世文学における馬琴読本の位置を理解する。

●学習内容(授業概要)

まず、江戸時代後期の戯作と呼ばれる作品の、様式・形態とジャンルとの相関関係を概観する。その上で、馬琴初期の読本『括頭巾縮緬紙衣』（歌川豊広画、文化五年<1808>刊）を、原文のコピーで読んでいく。本作は、後々まで改題後印本（『碗久松山 柳巷話説』）が出るほどの人気作であった。読本としては短編であるので、「碗久松山」物との比較や、作品論までいくことができれば、面白い。

なお、原本のコピーをテキストとするので、基礎演習で変体仮名を学び、変体仮名が読める学生が受講して欲しい。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 江戸時代の文学
2. 江戸の戯作
3. 江戸の読書
4. 『括頭巾縮緬紙衣』について
5. 作者馬琴
6. 馬琴の読本
7. 序文
8. 口絵
9. 目録
10. 上巻の本文
11. 上巻の挿絵
12. 中巻の本文
13. 中巻の挿絵
14. 下巻の本文
15. 下巻の挿絵

●準備学習・事後学習の内容

当日授業で扱う箇所を読めるように予習しておくこと。授業後は、難読箇所を確認しておくこと。

●成績評価方法・基準

平常点（30%）と学期末試験（70%）によって評価する。

●テキスト（必携）

授業時にプリントを配布する。

●参考文献／その他

特になし。

●履修上の注意

皆出席するのは当然です。